

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月15日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|---|-------|------------|
| 事業所番号 | 0172900078 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 旭川福祉事業会 | | |
| 事業所名 | グループホーム ゆとり | | |
| 所在地 | 北海道旭川市永山4条3丁目1番20号 (電話) 0166-46-5061 | | |
| 評価機関名 | タンジェント株式会社 | | |
| 所在地 | 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年3月13日 | 評価確定日 | 平成20年3月19日 |

【情報提供票より】(平成20年2月8日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|----------------------|------|
| 開設年月日 | 昭和(平成)17年 5月 9日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 19 人 | 常勤 10人, 非常勤 9人, 常勤換算 | 7.9人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|--------|--------|
| 建物構造 | 木造平屋建て | 造り |
| | 1階建ての | ~ 1階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|-----------------|----------|------------|-----------------|
| 家賃(平均月額) | 40,000 円 | その他の経費(月額) | 10,000~18,000 円 |
| 敷金 | 有(円) | 無 | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり | 1,200 円 | |

(4) 利用者の概要(2月8日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 | 4 名 | 女性 | 14 名 |
| 要介護1 | 1 名 | 要介護2 | 2 名 | | |
| 要介護3 | 7 名 | 要介護4 | 5 名 | | |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | 2 名 | | |
| 年齢 | 平均 80.9 歳 | 最低 | 58 歳 | 最高 | 94 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------------|
| 協力医療機関名 | 森山病院・佐野病院・かむい歯科診療所 |
|---------|--------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

国道沿いより少し中に入った閑静な住宅街に設立され、交通の利便性と環境に恵まれた中にある平屋建てのグループホームです。また、母体法人は、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、保育園などを運営している地域に根ざした活動が行われています。グループホーム内は広くゆったりとしていて、共用空間ではボランティアによるハーモニカや三味線の演奏、知的障害者施設で製造されたパンや野菜などの移動販売に利用され、利用者が金銭を使う場も見出され楽しみごとの支援もされています。また、職員の個々の目標も明示され、それぞれの課題への取り組みが明確になっていて理念の達成に向けた実践に日々取り組まれています。

【重点項目への取組状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 外部評価の実施は、今回初めての取り組みであり今後は、運営推進会議の中で自己評価及び外部評価の結果について報告される予定となっております。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しており、職員が参加して自己評価が行われ改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果については、運営推進会議に報告される予定となっております。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
| | 運営推進会議は、評価日現在5回実施されています。その議題については事業内容とその活動内容について ホームの利用状況について ヒヤリ・ハットでの事故の未然防止の取り組みについて ホームの取り組みについて 意見交換、質疑応答 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| | 利用料の支払いを家族に毎月持参しているため、来訪時に要望や不安への対応が行われていると共に運営推進会議で意見交換されて、そこでの意見などが運営に反映されています。また、「ほほえみ」便りを3ヵ月に一度発行して、行事参加の様子や新人職員の紹介記事が掲載され、情報の提供が行われています。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 町内会に加入して、ハーモニカや三味線の演奏、ドックセラピーなど、地域の人達のボランティアの受け入れなどで交流が日常的に行われています。また、知的障害者施設で製造されたパンや野菜などの移動販売を受け入れ地域での貢献にも取り組まれています。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 経営理念をもとに、運営方針、行動指示が明確になっており、グループホーム独自の理念となっている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念の達成のために、個々の職員の具体的な目標を掲げその達成について全体会議、ユニット会議、給食会議で話し合わせフォローアップされている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内会に加入して、ハーモニカや三味線の演奏、ドックセラピーなど、地域の人達のボランティアの受け入れなどで交流が日常的に行われている。また、知的障害者施設で製造されたパンや野菜などの移動販売を受け入れ地域での貢献にも取り組まれている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しており、職員が参加して自己評価が行われ改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果については、運営推進会議に報告される予定となっています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|---------------------|--|
| 5 | 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>運営推進会議については評価日現在5回開催されている。メンバーは利用者、家族、町内会役員、大学講師、管理者及び職員で構成され具体的に活動に取り組んでいる。</p> | | <p>今後は、市や包括支援センターの協力のもと地域との連携を深めるために地域の住民も交えた救急救命訓練などの実施により具体的な意見交換で運営に反映されるように検討されています。</p> |
| 6 | 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>事業所は、市担当者との連携の重要性については十分理解し、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p> | | <p>今後は、市や包括支援センターと協働して、感染症対策やAEDの使用方法など地域へ浸透すべく取り組む検討がされています。</p> |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>利用料の支払いを家族に毎月持参しているため、来訪時に要望や不安への対応が行われている。また、「ほほえみ」便りを3ヶ月に一度発行して、行事参加の様子や新人職員の紹介記事が掲載され、情報の提供が行われている。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>家族会との意見交換や運営推進会議でのホームの活動の報告や運営についての話し合いなど日常的に対応が行われている。また、苦情等の受付窓口を明確に掲示している。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>定期的に発行される「ほほえみ」通信で職員の紹介記事が掲載されている。また、管理者は職員の離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|---------------------|--|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>法人内での感染症対策などの研修や保健所による疥癬対策の研修が充実している。また、グループホーム連絡協議会やケア研究会など外部の研修参加を奨励され、参加者の報告などでフォローアップされています。</p> | | <p>今後は、能力のある職員の正職員登用の門戸を広げるなど職員のモチベーションを引き上げていくことも検討されてみては如何か。</p> |
| 11 | 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>包括支援センターの交流会参加やグループホーム連絡協議会・ケア研究会で他施設との意見交換などが行われている。</p> | | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、利用前には家族・利用者の見学などで職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p> | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>思いや意向を把握する取り組みやセンター方式を利用して利用者の過去の大事な出来事や生活歴を把握するなど本人と共に支えあう関係構築に努力している。</p> | | |

| 外部 評価 | 自己 評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|----------|---|--|---------------------|-----------------------------------|
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | 利用者一人ひとりの思いや意向、希望の把握に取り組んでいる。また、行事や紅葉狩りなどの外出参加など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | 介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されて利用者、家族の希望や医師からの助言、カンファレンスやユニット会議を通じて職員からの意見を取り入れ具体的になっている。また、センター方式が取り入れられている。 | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | 個別の期間毎の評価や介護支援専門員が中心となってカンファレンスを随時実施し、現状に即した介護計画の見直しが行われている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、医師・看護師による連携体制がとられ、柔軟な支援をしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。 | 利用者をよく知る主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階で本人・家族の意志が確認され、職員間で共有されている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけが行われている。また、記録等の扱いについては、個人情報に配慮されている。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者一人ひとりの希望や思い、ペースを尊重して持続可能な生活を送れるように支援している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|---|---------------------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事が楽しみなものになるよう、料理の準備や後片付けを利用者が職員と一緒にやっている。 | | 今後は、職員も入居者と同じ食事を一緒に楽しんで食べながら、食べ方の混乱や食べこぼし等に対するサポートをさりげなく行えるように職員も同じ食事を取れるように期待します。 |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 週3日(月、水、金)一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者一人ひとりの生活歴が把握され、畑作業や調理の準備・後片付け、行事参加などへの生活の支援がされている。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 買い物、散歩、紅葉見物や動物園、花菜里ランドなど戸外に出かけられるよう支援している。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|---|---|---------------------|--|
| 27 | 71 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | 緊急時に速やかに対応ができるように火災避難訓練や救急救命の訓練が実施されている。 | | 今後は、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう運営推進会議で働きかけを行う計画がされています。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | 管理栄養士によるメニューが作成され、個別の嚥下状態などによる支援も実施されている。また、具体的な食事や水分の摂取量が把握されている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | グループホーム内は広くゆったりとしていて、共用空間ではボランティアによるハーモニカや三味線の演奏、知的障害者施設で製造されたパンや野菜などの移動販売に利用され、利用者が金銭を使う場も見出され楽しめごとの支援もされています。敷地は、広く畑では野菜も作られています。 | | |
| 30 | 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | 居室には、家族の写真や観葉植物が飾られたり、使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。 | | |

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。